

雑

款

九

2061

至意

政本部長

有馬

第一部長

會計課長

部員

副官

參事官

井出

參事官

三十七年三月五日 起案

三六法裁

大臣

總務長官

次官

軍務局長

軍務局長

局員

經理局長

主任局員

主任局員

主任局員

官房第八四三號

事務馬田 事務長 保隆村 及 倉敷 料 二 斗  
事務馬田 事務長 保隆村 及 倉敷 料 二 斗  
事務馬田 事務長 保隆村 及 倉敷 料 二 斗

2062

社上海支、指之取入レ之其之為之倉  
支料及深險料仕掛リ之其之其之  
用レ之臨時事、件費、雜件費、支出、  
概算、分、計、取、之、也

保險料 每月三兩

倉庫料 每月三兩

兵船入取九兩

五十三兩六十四

貳兩九十



本日午後 廿七日付、貴司拝読致し、上海郵船会社倉庫、  
 一時預置キル軍艦陽田用兵器類、預証、保険料倉  
 敷料等支払ニ関スル書類提出言、御催促ニ預リ恐縮至  
 三即座矣

一、預証ハ別紙封ニテ即送付ニ及ビ申矣

一、倉敷料ハ右預証ニ記載、通り高送、一個ニ付

キ一ヶ月一〇〇〇、割合ナルヲ以テ總計二十九個ニ付

一ヶ月二兩九〇ナリトス支払ハ教ケ月令纏ケルモ毎月

支払ラフモ差支ナシトナリ

一、保険ハ陽田用推進機等ト共、三ヶ月ノ期限同会社ニ命じ契

約ハ小田切總領事ニ之ヲ締結セリ保険料ハ



第一部長 (馬)

第一部長  
第三部長  
第四部長

部員

副官

参事官

三十八 決裁済

三月七日 起案

大臣

總務長官  
次官

軍務局長

局員

經濟局長

事務院内各局類に他係着せず

一 墨銀 九拾 叁仙

官房第一〇〇三號

2066

右、事、陸、陽、田、冬、品、類、生、地、日、本、船、  
形、株、式、會、社、上、海、支、店、新、入、之、為、  
ニ、ユ、ド、ツ、ク、マ、同、社、倉、庫、修、修、及、  
陸、上、傳、入、人、是、後、ニ、及、之、其、拂、マ、安、  
ク、其、修、修、事、能、費、修、修、事、多、支、出、  
亦、以、故、中、四、行、之、裁、也、

三十七年三月十六日

切取に預け申  
於て後海軍に出  
るに於て

請求書

一 墨銀券拾九兩五拾参仙

共金券拾七兩貳拾五錢七厘

但 辛未年三月二十日時價  
墨銀券拾九兩五拾参仙  
金券拾七兩貳拾五錢七厘

但軍艦隔田辨附属品券拾貳佰圓會社上海  
支店倉庫保管ニ係ル費用

内譯

銀券拾四兩五拾参仙 ヨエドツクヨリ會社倉庫迄

銀五兩

陸上庫入人足貨

船貨

右請求仕候也

東京市麹町区有樂町一丁目一番地

明治三十七年三月十五日

日本郵船株式會社社長

近藤康平

海軍省

艦政本部 中津

海



九  
十  
九  
九  
九

秘

御覽

軍務局

總政本館

軍令部

聯隊機密部 一〇二二五

局員

別紙内士族定第五〇號  
報告第五〇三

第一部長

海軍大臣青木權吉書

海軍大臣青木權吉書

解

海軍大臣

海軍大臣

海軍大臣

海軍

2069

九五

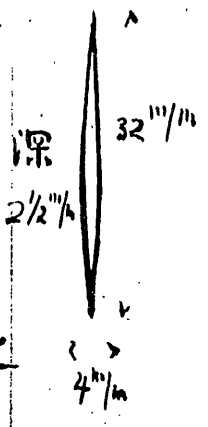
機密第五三〇号

御届

八月十日海戦、後本艦搭載十二甲砲、臆中ヲ掃除シ  
 行ヒ臆内、検査シ遂ケタルニ各砲トモ彈庫、後端及  
 旋條部ニ寺ニ多少ノ侵蝕ヲ来シタルヲ認ム其剣面ハ  
 概シ臆軸線ト平行シ形状ニミテ恰モ斬金穿鋼  
 類ニテホ込シタルカキ觀テ呈シ長サ二十センチ内外ヲ  
 稀ニ三センチリニ及ブモノアリ

次ニ侵蝕ノ特ニ著シキモノヲ挙ケルハ  
 (一) 前部砲塔右砲  
 旋條部後端ヨリ劍、前端ヲ約百三十センチ  
 彈庫、右側壁ニアルモノ

一〇二六

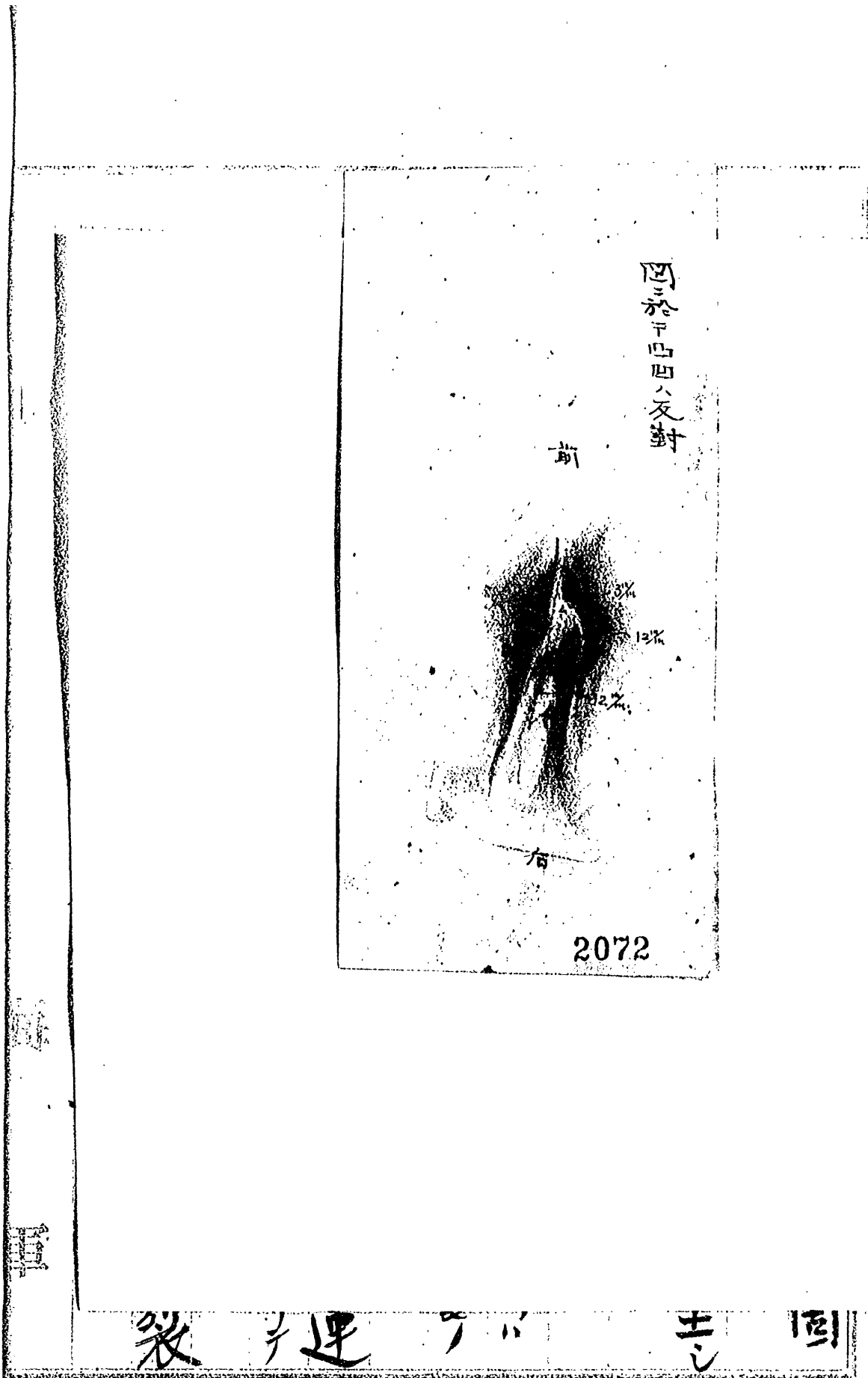


此剝ハ本年三月旅順口内向接射撃ヲ行  
ヒタル後者見シタルモノナルガ今回射撃ニヨリ  
著シク其剝面ヲ増大シタルモノナリ

尚彈室ノ後方下面ニ數剝ヲ認ルモ長サ十五  
センチニ越スモノナリ剝底モ亦浅クシテ一五センチ  
以下トス

(二) 後部砲塔左砲

該砲ノ侵蝕ハ最モ甚シク (A) 旋條部後方  
七十センチヨリヨリ百センチリマテ向 (彈室直下環形附近)  
ト (B) 旋條部後方二百センチヨリ内外ノ位置直ニ於テ  
數多ノ碎裂剝創ヲ認ム



四三於下四八交對

前

3%

12%

22%

右

2072

國史文獻通考

2073

(A) 彈室ノ膽壁ノ周圍ニ大小ノ裂創七十餘箇

其中長サ二十ミリニ達スルモノ七個ヲ算ス

右ノ一割ハ彈室ノ後端(導環部)右側壁ニ生シ

タルモノニシテ特種ノ形状ヲ有セリ

略圖別紙ノ通リ

創面ノ一部隆起ニテ先揮ヲ帯ビ其前端ハ

旋條部ニ向テ擴ガリ烈ニキ摩擦ヲ生セシメ

ル如シ

思フニ其創ハ相接近セル併裂創、二個以上連

合セルモノニシテ殊猛ナル火薬瓦斯ノ吹放ニヨリテ

特種ノ形状ヲ呈シタルモノナラン

(B) 創面ハ長サ深サ共ニ(A)ヨリ小ナシモ大小併裂

一面ニ存在シ侵蝕ノ度甚ニキカ如シ

尚ホ(A)ト(B)ト向(葉室ノ前端)ニ下面數個裂

創ヲ認ム

旋條部ハ膠渠ノ粒多ク解裂シ生ジ相連続シテ

長サ五六十ヨリシニ達スルモノ多数ヲ認ム但シ其創

有り淺クシテ幅モカタクナリトス

後部砲塔左砲ハ放射彈數ノ最少ナル物ニシテ

内ノ侵蝕特ニ甚シキヨリ察スルハ内筒構成材

料ノ不良ナルニヨルナラシカ

各砲共ニ旋條部後端ノ摩滅甚シク何レカ旋條部

起兵ニヤリ判別シ難ク條丘ハ白色ノ先澤ニ帯ヒ其

断面ハ孤形トナリ旋條ノ原形殆ド見ル(カラス)

葉室ノ前部モ可ナリノ侵蝕ヲ受テ大ナル解裂縦横

亘ル但シ創者ハ皆淺キカ如シ

右二門ノ砲モ唯侵蝕増大シタルノミニテ其他ニ毫モ  
異状ヲ認メズ今後貫射ニ十カニ注意ヲ拂ハル  
差支ナキモノト認ム  
右御届仕矣也

明治三十七年八月十八日

富士艦長 松本



第一艦隊司令長官

東郷平八郎殿

海軍





普第三六三號

八月十七日進達

一、由上相連射砲藥室及尾柱一部大藥瓦斯部熔解

レリル件ニ付報告

去ル八月十日詠吹艦隊ト砲戰際一由上相連射砲藥室後端上部  
 長約五五密深約二密尾柱之剛面上部相對計是部能テ全ク全形大  
 熔解セル痕跡アリ且其附近ニ於テ藥室一部熔解セル附屬レテ居  
 レ其邊見エラシクテ全形ニ於テ後放セル藥室換ヒ其内一個ニ別當  
 如ク底板、少シ上ニ於テ長約五五密中約二密全ク熔解セル細長孔  
 ラ空弁セルモノアリテ前記砲身及尾柱、熔解セル全ク此不良藥室  
 ラ使用セル及ノ僅大ナル藥瓦斯一部此孔より奔出セルニ由ルモノ  
 ヲ知ル惟ニ此藥室ハ壓表式ニテ製シ是際ハ一面ニ若干  
 ノ瑕疵若クハ薄皮アリテ斯ル瑕疵ハ外部ヨリ見エラシク其後

五戰次普第一

號

五

横濱分社印刷

此が薬ヲ直ニ充セシカ爲メ強大ナル瓦斯壓力ノ一部ニテ衝キ破リテ  
以上ノ如キ結果ヲ来シタルモノナリ

尤モ是後故ニ此砲モ更ニ又ナキ見込ナレト爲ル念專ク技師ノ検査

ヲ要求セシ技師以上ノ事實ヲ聽取ルニテ實地見込ノ

ナカリシガ斯ル故障ノ不良火薬ニ往見知レテ損害ノ程ナ

ク依テ堆積スルニ別段後放ニ至ラズカレハトモ思見ナレシヲ以テ此故

ニ溶解部ノ面ヲ滑削セシメタリ

此ノ不良火薬ニ因テ刻印ニ付シテ未ダ一回モ使用セザルモノナリ

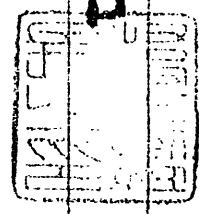
而テ此古型大砲ノ刻印ヲ附シテ未ダ一回モ使用セザルモノナリ

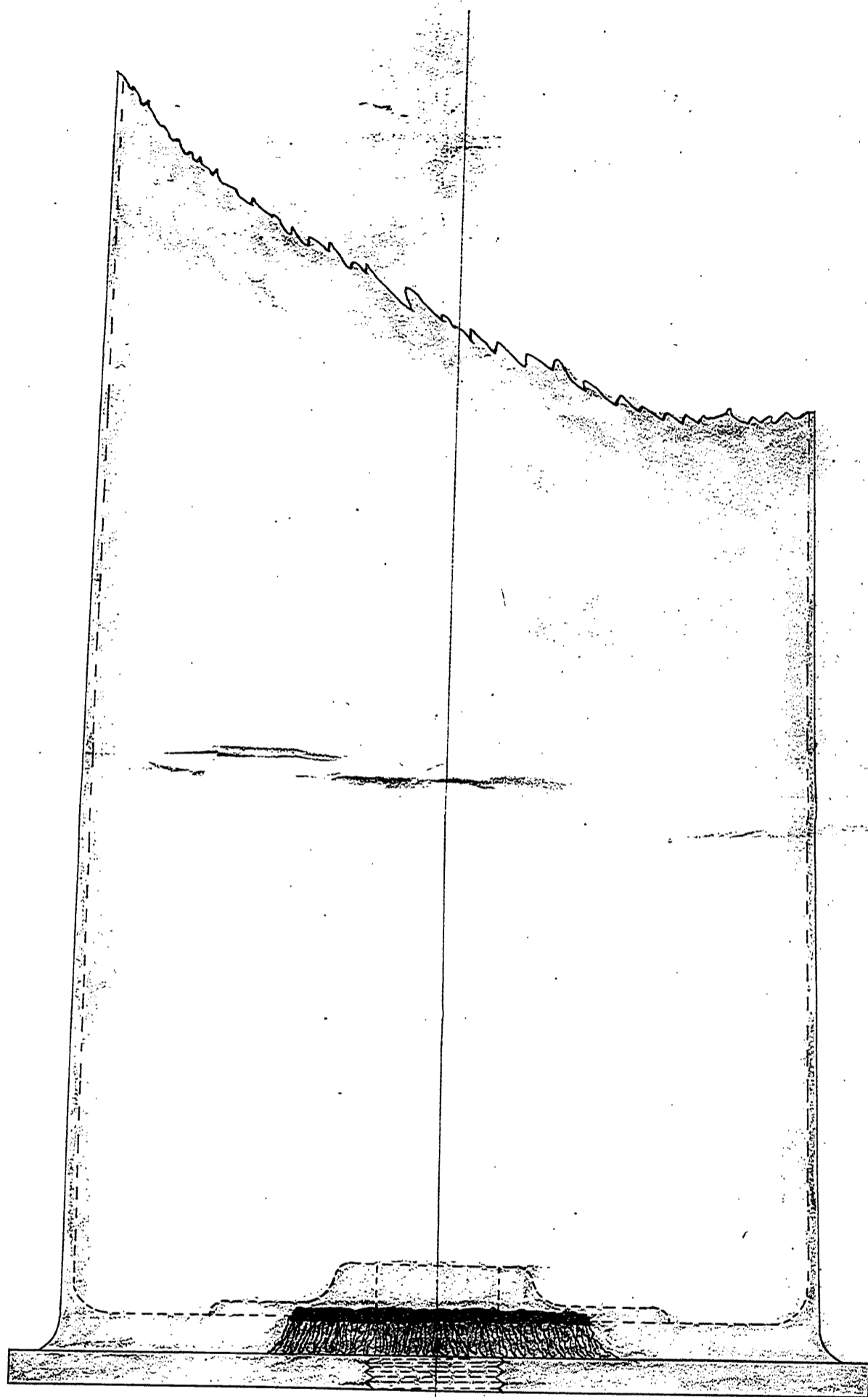
右別當藥莖斬面箇相添ハ此段及報告候也

明治三十七年八月十六日

橋立艦長加藤定吉

第三艦隊司令長官佐田七郎殿





黒色彩色部  
焼解部



艦港機密第四六號

軍務局

艦政本部

軍艦揚子江、義、新、報、船、水雷艇及第四十八號水雷  
 船揚子江、別紙同、角、有、未、決、揚、子、江、此  
 小、官、古、揚、委、員、於、送、了、系、條、此  
 明、治、三、十、七、年、九、月、三、日

九八

及第四十八號水雷艇

聯合艦隊司令長官東郷平八郎殿

各部 (大木)

戰時艦隊集合港務部長三浦

戰時艦隊 港務部長印

九平

軍艦宮古引揚品別率目録之通候也

三十七年八月廿六日

軍艦宮古引揚事業負

海軍造船大技士磯崎清良



戦時艦隊集令地港務部長三浦功殿

軍艦官古引揚品目録

兵器之部

品名	個数	記	事
安式十二珊速射砲々身	式門		
全 砲鞍	式個		
全 楯及砲架	式個	把軸盤欠	
重四十七ミリ速射砲々身	六門		
全 楯及砲架	式個	把軸盤欠	
軽甲七ミリ速射砲々身	四門		
全 楯及砲架	四個	把軸盤欠	







以上	概 械 之 部	灰 腸 概 械	以上	齊 備 品 之 部	前 後 ヤ ー ド 及 索 具	後 橋 ト ッ プ マ ス ト 及 索 具	ス ト リ ー ム ア ン カ ー	ケ ジ ー ア ン カ ー
参 考 件		各 個	各 件		全 部	各 本	各 本	各 本

以上							四件
雜品之部							
器	火	信	號	燈	式	個	
櫛				燈	式	個	
櫛	頭	信	号	燈	式	個	
ホ	ー	ス			四	本	
ス	マ	ン	テ	ン	ガ	ホ	ー
ス	カ	ー	コ	ン	グ		
取	付	万	力		六	張	大小諸種
器	水	用	靴		六	張	
					式	個	
					式	個	



水雷艇第五拾陸號引揚岳目錄

兵器部

一 輕四七ミリ砲身及砲架

壹門

一 聯成水雷發射管

全部

一 全トイサ

壹個

一 水雷引揚バンド

壹個

一 ノソツチ

貳個

一 夜中照準器用其他電池

七個

一 差手銃

壹挺

以上

七件

測器之部

二六分儀

壹個

二測度器

壹個

二海圖

壹枚

以上

參件

機關之部

二空氣壓搾機

壹臺(ケージ付)

二扇風機

壹臺

二濾過機

壹臺

二蒸化機

壹臺

ドレインボウクス

壹個

注油器

壹個

蒸気用パイプ

六節

バルブ米尺

拾貳個

ピストンパッキン豫備

壹個

復水器予備管

五本

汽罐掃除用パイプ

壹本

アルコールランプ

壹個

スワップ

貳個

機関部道具箱

壹個

檢立ハンドル

参考 (タングミ本付)

取付方等、お鉄、入心、(六角形)等、タングミ本付

保護重鋸板

五枚

以上

拾六件

雜品之部

銅製衣ボラード

貳個

全石ヤリド

貳個

綱

貳条(可揚重業に使用可能)

鉄製衣梯子

貳個

信號旗フック

叁拾六個

水雷飛日誌

拾五冊

洋角燈

壹個

2091

一 飛燈亦ヤ

以上

鄭圃 (漆青冬二個ッ)

八件

合計

参拾四件

2092





海軍

第四拾八號水雷艇引揚目録

輕四十七号砲身

卷門

以上

卷件

2094

海軍  
七三

興鎮精  
七四ノ二

副申

吳水雷團長心得より海岸用装置電納制式採  
用ノ儀、箇ノ別紙寫通リ意見具申有之由查セテ  
之ニ至極尤モノ意見ト認メ候付テ御覽議上候也  
相成候様致成此取副申候也

明治三十七年七月二十日

吳鎮守府司令官 柴山 久

海軍大臣 野村 浩平

海軍本部

第一部長



十三日

2095

吳水團機密第一五四號

敷設水雷用電纜ニ關スル意見

從來我海軍ニ於テ御採用相成候水電纜ハ七心、四心、及單心  
 裝鎧電纜ノミニテ何レモ普通ノモノニ有之矣處從來及現今  
 ニ於テモ海岸附近ニ於テ損折ヲ生スル一早シト認メテ尚ホ又  
 今回諸島水道（岩石特ニ多シ）ニ於テ實驗中電纜ノ損スル一  
 頗ル早キヲ認メテ付テハ將來岩礁多キ荒海岸ノハ流潮  
 強キ岩礁多キ海岸ヲ有スル場所ニ用ユル海岸用（海岸ヨリ若  
 ル迄但シ英國ニ於テハ  
 五ノ乃至四百碼）線トシテ左記制式ノモノヲ特別ニ御採用相成  
 義可然ト被存矣尤モ右ハ英國ニ於テ用井矣モノト同様ニ  
 シテ既ニ幾多ノ實驗ヲ經テ善良ノモノト認メテ  
 一七心電纜 海岸線用

海

軍

制式心線ハBVG第廿三号銅線七條ニシテ隔縁物ハ普通ノ  
通リ而シテ七本ノ各心線ヲ一ノ「ストランド」ニ纏リ上ケ「ジエウトヤ  
ー」(タール付)ヲ以テ「ウアルム」及「セルグ」ヲ施シ而ル後徑〇・  
一〇二「インチ」ヲ有スル亜鉛鍍鉄線二十四條ヲ以テ之ヲ纏  
ヘ又之ヲ「ジエウトヤーン」(タール付)ヲ以テ「セルグ」ヲナシ最後ニ直  
徑〇・三三九「インチ」ヲ有スル亜鉛鍍鉄線十三條ヲ以テ第ニ  
ノ装鍍ヲ施シ出末上リ全徑ヲ一・七五「インチ」ニ至ラシム  
一海里長ノ空中重量ハ二百五十七「ポンド」ウエイトナリ

右意見及提出候也

明治三十七年十月十五日

吳水雷團長心得牧村壽三郎

吳鎮守府司令長官柴山矢八郎

号番

△字及横城出...

大臣

副官



参事官

發行

三月九日

三十七年三月十七日起案

總務長官

次官



總理局長



局員



局員



指令按

兵廠第一六九號兵器類運搬隨意  
契約取止ノ件認許ス

明治三十七年三月十九日

官廳第八八六號三

海

軍

2098



艦政部長

第一部長

兵廠第六十九號

十二月十七日進達

兵器類運搬隨意契約取止ノ件

付上申

主任局員

去ル二十年四月兵廠第三〇五号ヲ以テ上申佐世保及吳鎮  
 守府ノ運送ノ兵器火藥類並ニ去ル三十五年三月東京兵廠第一  
 九七号ヲ以テ舞鶴鎮守府ノ運送ノ兵器火藥類及ヒ宇治  
 火藥製造所一注文ノ火藥類運搬方日本郵船株式  
 會社内國通運株式會社ト隨意契約ノ義二十九年四月  
 官房第一五二三号及ヒ三十五年海總第九一三号御認許  
 ヲ得居美処現今ノ形勢ニ徴スルニ交遊機関モ備リ前記  
 兩社ノ外相當運搬業者有之責余右隨意契約ノ  
 義取止度以啟上申美也

官房第六十八号

經四第一二〇六號

9648

2099

明治三十七年十二月十九日

海軍造兵廠長澤鎰之



海軍大臣男爵山本權兵衛殿